

平成24年度
外来植物除去活動 報告書

環境省 日光自然環境事務所

1. 概要

平成20年度より、奥日光地域において日光自然環境事務所職員及び日光パークボランティア（NPV）による外来植物の除去活動が実施されている。本報告書は、平成24年度に行われた外来植物の除去活動をまとめたものである。

2. 活動状況

(1) 活動時期及び作業者

除去活動は計7日、作業者数は、延べ28人である。

5月17日から6月7日までの3日は、主にハルザキヤマガラシの除去、7月12日から8月28日までの4日は、オオハンゴンソウを中心とした除去を行った。

なお、6月19日に予定した除去活動は、台風4号の接近に伴い中止した。

(2) 活動区域

活動区域は、戦場ヶ原周辺、湯ノ湖及び市道1002号線沿いである（図1参照）。オオハンゴンソウは、湯ノ湖、国道下、逆川、三本松、赤沼及び湯導管を集中的に、ハルザキヤマガラシは、逆川特別地域、逆川特別保護地区シカ柵内外及び農場（戦場ヶ原）を集中的に行った。

(3) 作業方法

除去作業は、手くわ、素手で、外来植物を根から抜き取り、除去したものはビニール袋に入れ、中宮祠のストックヤード又は事務所へ搬入し日光市へ処分を依頼した。

(4) 作業時間

除去作業は、活動日の午前9時から午後0時まで、延べ84時間で行った（表1参照）。

表1 作業時間

年 月 日	人数(人)			時 間(h)	作業時間 (人・h)
	NPV	環境省	合 計		
H24.5.17	5	2	7	3.0	21.0
H24.5.29	4	2	6	3.0	18.0
H24.6.7	1	2	3	3.5	10.5
H24.7.12	1	2	3	2.5	7.5
H24.7.24	2	2	4	3.0	12.0
H24.8.9	1	1	2	3.0	6.0
H24.8.28	1	2	3	3.0	9.0
合 計	15	13	28		84.0

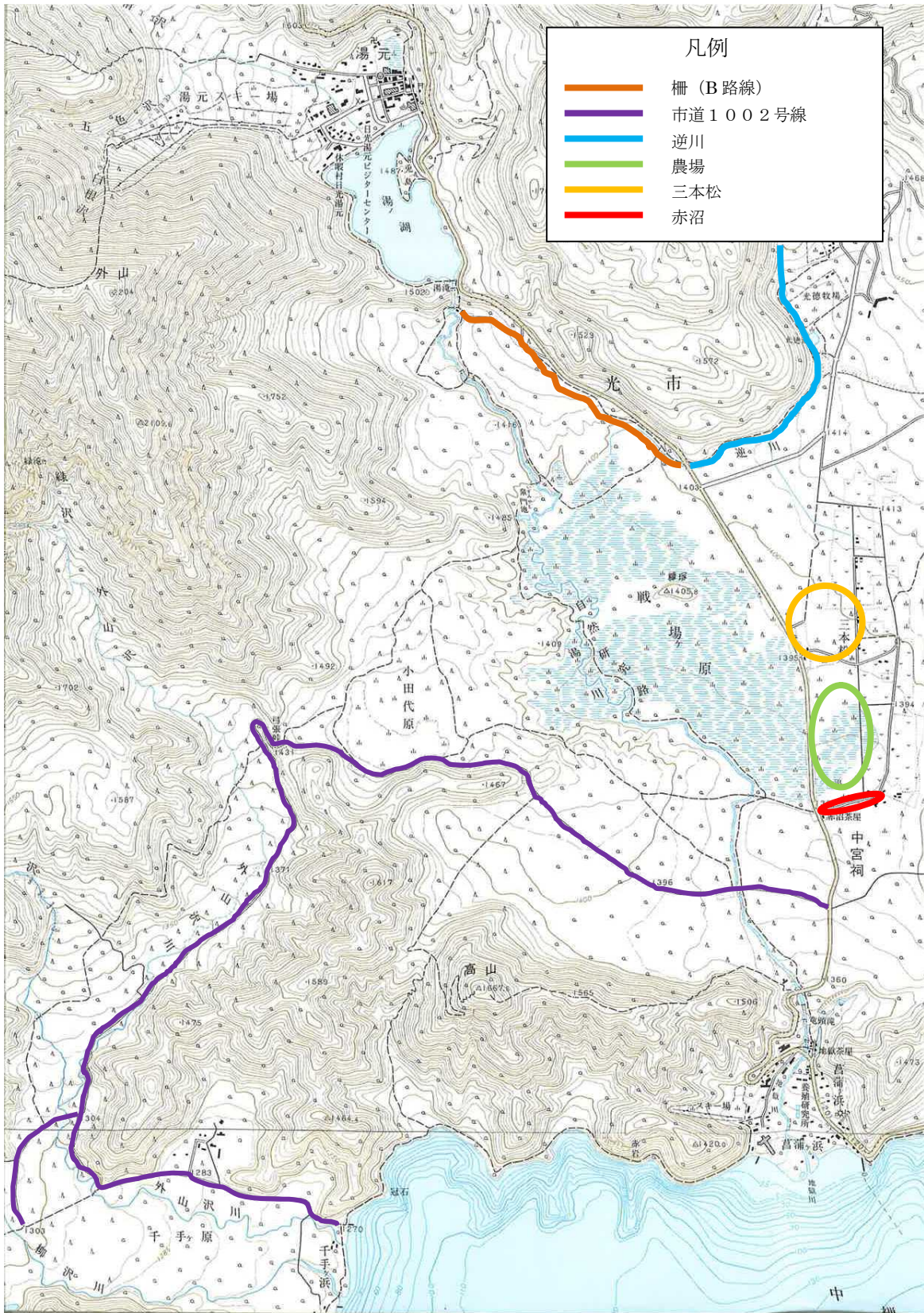


図1 活動区域図

※ 国土地理院 図葉名：男体山 発行（改変）

3. 除去結果

除去株の総数は、2,052 株で、内訳はオオハンゴンソウ 211 株、ハルザキヤマガラシ 828 株、その他外来植物が 1,013 株であった。

平成 21 年度から各年度の比較は表 2 の通りである。21 年度と 24 年度を比較した場合、オオハンゴンソウは約 97% (8,945 株) の減少で、ハルザキヤマガラシは約 96% (22,020 株) の減少であった。

表 2 年度別の除去株数比較

単位：株

年度	オオハンゴンソウ	対前年増減(%)	ハルザキヤマガラシ	対前年増減(%)
21	9,156		22,848	
22	2,640	▲6,516 (71%)	11,047	▲11,801 (52%)
23	936	▲1,704 (65%)	8,540	▲2,507 (23%)
24	211	▲725 (77%)	828	▲7,712 (90%)
計	12,943		43,263	

(1) ハルザキヤマガラシの除去結果

表3 ハルザキヤマガラシにおける除去活動結果

年月日	除去株数(株)					備考	
	逆川			農場	その他		合計
	特別地域	特別保護地区					
		柵外	柵内				
H24.5.17		55	45	449		549	
H24.5.29	75	60				135	
H24.6.7			59		56	115	その他：市道1002号線
H24.7.12		29				29	オオハンゴンソウ除去時
合計	75	144	104	449	56	828	

表4 ハルザキヤマガラシにおける地区別の除去株数の経年変化(1)

年度	逆川特別地域	逆川特保柵外	逆川特保柵内	農場	年度計
H21	9,038	1,965	3,698	334	15,035
H22	3,537	3,198	1,766	30	8,531
H23	1,844	1,426	653	301	4,224
H24	75	144	104	449	772
地区別計	14,494	6,733	6,221	1,114	28,562

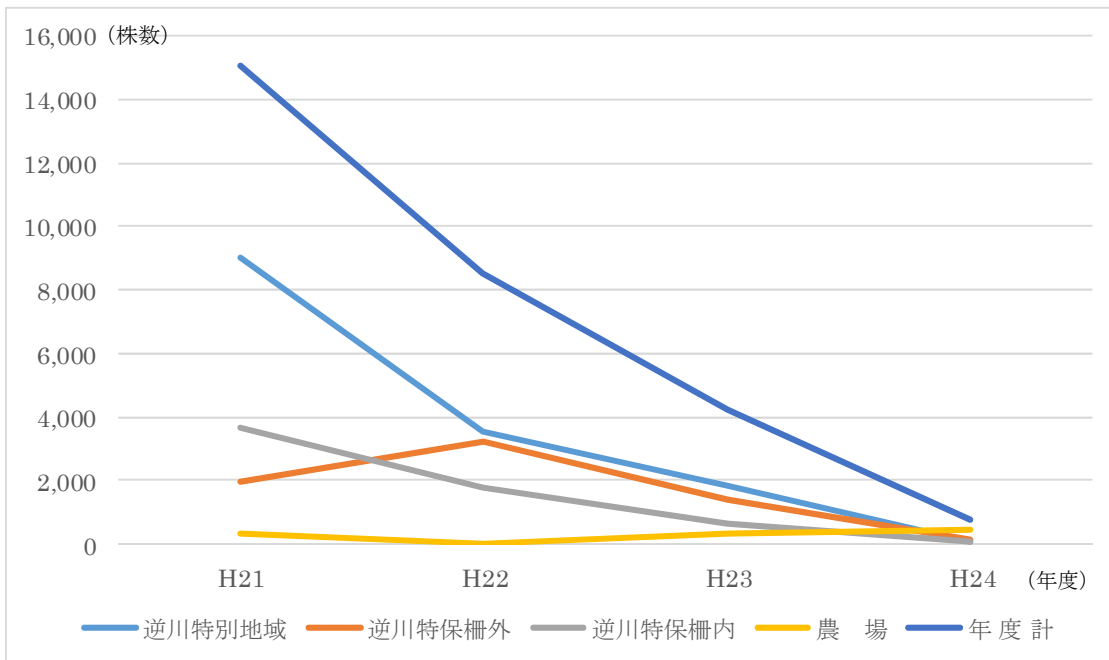


図2 ハルザキヤマガラシにおける地区別の除去総株数の経年変化(2)

ハルザキヤマガラシは平成21年度の除去株数15,035株に対し平成24年度772株で14,263株(94.9%)減少している。

(2) オオハンゴンソウの除去結果

表5 オオハンゴンソウにおける除去活動結果

年月日	除去株数(株)						備考
	湯ノ湖	国道下	三本松	赤沼	その他	合計	
H24. 5. 17					87	87	その他:湯導管 ハルザキヤマガラシ除去時
H24. 7. 12		13			38	51	その他:湯導管
H24. 7. 24			15		10	25	その他:湯導管
H24. 8. 9		0	0			0	
H24. 8. 28	21		1	18	8	48	その他:湯導管
合計	21	13	16	18	143	211	

表6 オオハンゴンソウにおける地区別の除去株数の経年変化(1)

	湯ノ湖	国道下	逆川	三本松	赤沼	湯導管	年度計
H21	734	524	320	443	5	0	2,026
H22	539	443	97	248	10	8	1,345
H23	49	11	0	177	10	219	466
H24	21	13	0	16	18	143	211
地区別計	1,343	991	417	884	43	370	4,048

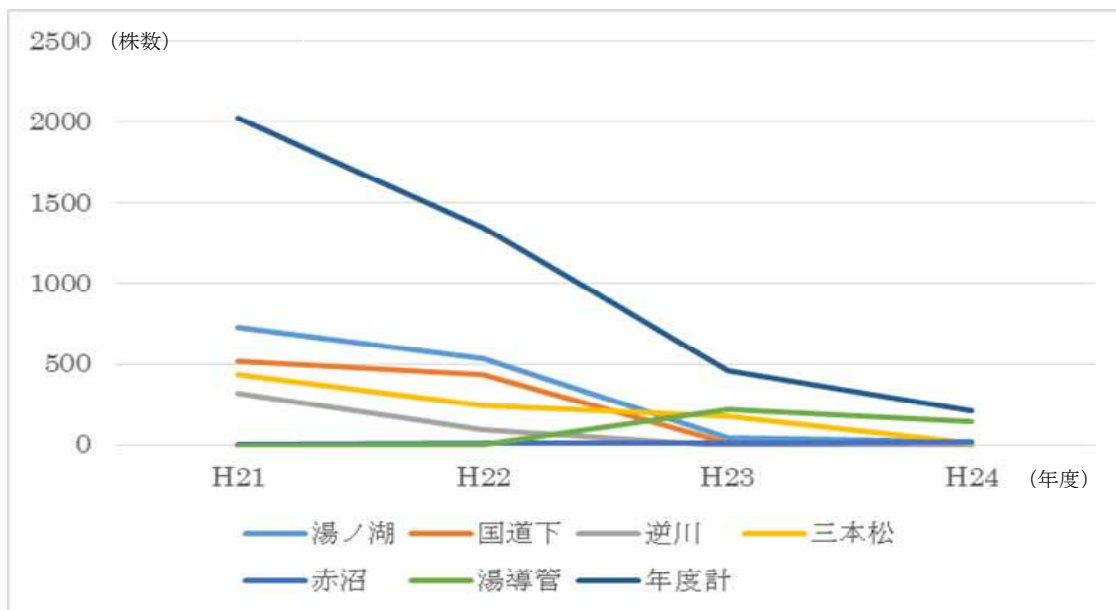


図3 オオハンゴンソウにおける地区別の除去株数の経年変化(2)

オオハンゴンソウは平成21年度の除去株数2,026株に対し平成24年度211株で1,815株(89,6%)減少している。

(3) その他外来植物における除去活動結果

表7 その他外来植物における除去活動結果

年月日	除去株数 (株)						備考
	湯ノ湖	国道下	三本松	赤沼	その他	合計	
H24. 7. 12		7				7	ビロードモウズイカ
H24. 7. 24					5	5	その他:湯導管メマツヨイグサ
H24. 8. 9		17				17	ビロードモウズイカ
		1				1	フランスギク
H24. 8. 28			752			752	オオアワダチソウ
					159	159	その他:湯導管メマツヨイグサ
その他			72			72	ヤブカンゾウ
合計	0	25	824	0	164	1,013	

4. まとめ

除去活動は、事前にハルザキヤマガラシとオオハンゴンソウの繁茂状況を現地調査のうえ、予定された活動日に除去作業を行った。本年度は、5月16日にハルザキヤマガラシと7月11日にオオハンゴンソウの現地調査を行った。

ハルザキヤマガラシは、農場（戦場ヶ原）、逆川、光徳及び白根沢で繁茂状況を確認した。いずれの地域も、大きい株は少なくまた点在して生育している状況であった。これらの地域のうち、光徳地区は環境省委託事業と栃木県による外来植物除去事業が予定されていること、白根沢は在来のヤマガラシと判別しにくいことから、日光自然環境事務所と日光パークボランティアの除去活動は、農場及び逆川を主として行った。

オオハンゴンソウは、光徳、国道下、三本松、赤沼、湯導管及び竜頭滝で現地確認を行ったが、光徳及び竜頭滝では、生育は確認されなかった。他の地区は株が小さいが点在している状況であることから、除去活動を行った。

その他、巡視中の確認やN P V等からも情報提供を得て除去作業を行った。

また、オオアワダチソウ等の除去作業については、活動日に併せて行った。

除去活動結果は、前述のとおり、これまでの継続した除去活動の効果は顕著に現れている。

しかし、これらの外来植物は、繁殖力が強いため、今後も継続した除去活動を行っていく予定である。